

宮城民医連の 奨学生になったら..



全国にたくさんの
仲間ができる!

民医連は47都道府県にあり、日本最大級の医療機関です。同じ志をもった仲間が全国から年に数回集まり、共に学ぶ機会があります。宮城だけにとどまらず、たくさんの出会いがあり、全国に一生涯の仲間ができます。

1

自己成長できる!

月に1回「学習会」を行っています。毎月テーマを決めて、医学生・看護学生・薬学生と一緒に学び、意見交換を行っています。また、年に数回「フィールドワーク」も行っています。被災地に足を運び復興の様子を学んだり、地元の人の話を聞いたりします。学びや体験を通して人間的な成長ができます。こういった機会を通して、将来一緒に働く仲間と学生時代から関係性を作ることが出来ます。

2



1年生から地域医療の
臨床現場を体験できる!

臨床研修指定病院である「坂総合病院」を中心に、年に1~2回実習を行っています。往診同行や手術見学、検査体験など興味関心に応じてスケジュールを組むことが出来ます。早い段階から臨床現場を学ぶことで、大学生生活のモチベーションも上がります。

被災地フィールドワーク
と全国のつどいin沖縄



学生生活をサポートする
体制がある!

東北大学、東北医科薬科大学のキャンパス近くに奨学生の皆さんの学生生活をサポートする「医学生室」があります。医学生室では、月1~2回の食事提供で奨学生の体調管理をサポートしたり、パソコンや印刷機、Wi-Fi、参考書などを完備した勉強スペースで、自由に勉強したりすることが可能です。民医連に加盟する医療機関で受診すると、医療費の全額補助も受けられます。(外来のみ) また、医学生をサポートする医学生担当もおり、必要に応じて相談にのるなど、奨学生が意欲的に大学生活をおくれるようにサポートする体制が整っています。県外の大学に在籍する宮城民医連の奨学生も同様にサポートしています。



3

4